



技短同窓会会報

第7号

編集・発行 同窓会会長・理事
発行部数:1,700部

熊本県立技術短期大学校同窓会会報



熊本県立技術短期大学校
同窓会会長 野田 泰
(第4期卒業 産業機械科)

平素は技短同窓会に格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。

このたびの熊本地震において被災された皆様、並びにご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

技短も被災し、今までの景色とはかなり違うその変化に、先日訪問した際ショックを受けました。また、今回の地震で今まで経験したことのない、「緊張感」「危機感」を感じ「この先どうすればいいのか」不安と恐怖に襲われながら数日過ごしました。そんな日々の中で震災直後から多くの方が「周囲の方たちとのつながりの大切さ」を感じたのではないのでしょうか。水や食料など不足品を「必要ありませんか?」と声をかけてくれる方、高齢者が給水所に水を取りに行くのを代わりに行ってくださる方等、ニュースでも心が温かくなるような話題が取り上げられていたのを記憶しています。

以前、ごあいさつの中で書かせていただきましたが、人とのつながりというものは切っても切れないものであり、そのつながりの中で私たちは生活しています。家庭、会社、プライベートでも人と接しているのであれば、つながりが無いというケースはほぼ無いと思います。多くの人とつながっている中で私たちは「技短卒」という同じ共通点を持っています。見方によってはただの大学つながりなのですが、数ある大学から「技短」を選択し卒業しているという人は決して少なくありません。このようなつながりを単なる言葉で終わらせるのではなく、「つながり」として強く繋がっていかうと同窓会は活動をはじめ今日に至っています。

私たちの活動は、まだ始まったばかりですが、大学は創立20年目を迎えました。これからつながりを強固にしていくということは、同窓会役員の活動だけでなく卒業生である皆様のご協力なくしてできるものではありません。久しぶりに同級生に連絡を取ってみる。会社の先輩後輩と技短話をしてみる。技短祭へ足を運ぶ。先生に会いに行く。方法はなんでも良いと思います。答えはありませんが、少しずつ技短に対して何かできることをしていきましょう。そのつながりから何か今までできなかったことができるようになると思います。活動自体を目的とするのではなく技短卒というつながりがあることを喜びに感じれるよう、同窓会を価値あるものにしていきたいと考えています。「技短卒だから」そんな前向きな気持ちを持てるように活動を広げていきたいと思いますのでご協力の程よろしくお祈りします。

4月14日、16日の熊本地震は、我々の想像をはるかに超える強烈なものでした。卒業生の皆さんやご家族はご無事だったでしょうか。ご自宅や職場には被害はなかったでしょうか。本校は建物や施設に大きな被害を受けました。幸い、学生や教職員は全員無事でした。これに対して、国内外の多くの方々から励ましのメッセージやご支援をいただきました。元氣ももらいました。また、多くの方々の献身的な救援・支援活動に接して、復旧・復興を確信すると共に、更なる発展につながるエネルギーをもらいました。地震で受けた災害は1つずつ片付けながら、一步一步前進しています。地震発生直後から休校にしていた授業も5月9日には再開することができました。これまでのご支援に感謝すると共に、これからもご協力よろしくお願いします。



熊本県立技術短期大学校
校長 里中 忍

4月14日、16日の熊本地震は、我々の想像をはるかに超える強烈なものでした。

卒業生の皆さんやご家族はご無事だったでしょうか。

ご自宅や職場には被害はなかったでしょうか。

本校は建物や施設に大きな被害を受けました。幸い、学生や教職員は全員無事でした。これに対して、国内外の多くの方々から励ましのメッセージやご支援をいただきました。元氣ももらいました。また、多くの方々の献身的な救援・支援活動に接して、復旧・復興を確信すると共に、更なる発展につながるエネルギーをもらいました。地震で受けた災害は1つずつ片付けながら、一步一步前進しています。地震発生直後から休校にしていた授業も5月9日には再開することができました。これまでのご支援に感謝すると共に、これからもご協力よろしくお願いします。

さて、順番が前後しましたが、技短の近況報告をお知らせします。昨年度の卒業生は89名、今年度の第20期入学生は85名でした。入学者が少なくなっているのは気がかりですが、高校生の高い求人倍率や本校からの情報発信が少なかったことなどが影響しているものと考えています。本校の近況はホームページで見ていただくことにして、その中から最近の取り組みを2つほど紹介します。1つは教育成果の見える化として資格取得や外部コンテストへの積極的な参加を推奨しています。資格取得は、昨年度47名が何らかの資格を取得しました。外部コンテストでは北九州で開催されたポリテクビジョン・ロボット競技大会で、電子システム技術科のロボットが準優勝しました。前年度が3位でしたので、着実に前進しました。また、今年、栃木県宇都宮市で開催された若年者ものづくり大会の機械製図(CAD)部門では、精密機械技術科の学生が敢闘賞を受賞しました。もう1つの取り組みは、学生の活動の場を広げるために地域や産業団体との連携活動を推進したことです。これまでも県内大学の集まりである大学コンソーシアム熊本で、学生は県内地域の美化運動や催しにボランティアとして積極的に参加してきましたが、熊本地震でも活躍しました。また、菊陽町、合志市と包括連携を結んだほか、昨年国際協働ものづくりを試行した韓国・永進専門大学とは県工業連合会と共に日・韓4者の産学連携によるものづくり国際交流のMOUを締結しました。授業の合間を縫って、学生は地域や国境を越えて相互理解や協働活動に参加してくれるものと期待しています。

前回の会報第6号で、同窓会は同じ学び舎で学んだ仲間が科を超え、卒業年度を超えて交流する機会を提供し、また後に続く後輩たちに卒業生の経験を伝え、母校を応援するための土台みたいなものであると書きました。昨年実施したアンケート調査では多くの卒業生から貴重なご意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。お寄せいただいた意見から、本校は卒業生の皆様に対するサービスが足りないことも実感しました。20周年を機会に、先生方にも同窓会の活性化のための仕組みづくりを考えてもらっています。

最後になりましたが、震災からの復旧・復興が続く中、また変革の激しい社会で、卒業生の皆様が健康に留意され、活躍されることを祈念しています。

2016年度総会 & 技短祭案内

2016年の総会は、技短祭同日の2016年10月30日(日)に実施致します。

場 所 在職者セミナー棟

時 間

11:00～11:30(予定) 総会

10:00～15:30(予定) ものづくりブース

昨年の総会で、同窓会役員活動費に関する議案が出され、支給に関しては可決されましたが、詳細を決める為の理事会が、震災により開催する機会が設けられず保留となっています。他校の事例を確認しながら適切な設定を行い、同窓会役員が活動しやすい環境を作り、実動できる役員確保に努めていきます。また、本来今年は技短創立20周年の節目の年であり、記念式典への対応などを検討しておりましたが、こちらも震災により延期となりました。卒業生の皆様へは具体的な内容が決まり次第、改めてご案内致します。

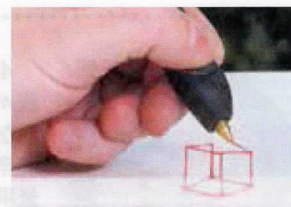
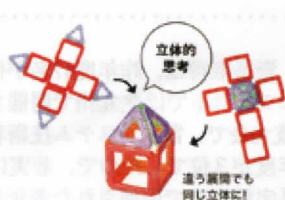
本年の総会では、20周年の節目を迎えた事を機に、新卒の中から同窓会役員を毎年1名ずつ選出する議案を出しています。

昨年の技短祭では、卒業生がご家族を連れて来る姿が多く見られました。在職者セミナー棟の中には、みなさんがゆっくりくつろげる場所を準備しておりますので、卒業生同士のおしゃべりの場としてもご利用ください。

今年のものづくり体験ブースの内容は、「設計」の技術をイメージした企画にしています。展開図から立体をイメージするものや、3Dペン体験、簡単に作成できるポップアップカード作成を準備いたしました。過去、難易度が高すぎるといった声が少なからずあったことから、ブースの内容をいくつか用意し、来校された方々がそれぞれに楽しんで頂けるように準備しています。お子様向けに、折り紙で折れるツムツムのコーナーも!!皆様のお越しをお待ちしております。

同窓会
連絡先

▶ 同窓会連絡先: kpctec@yahoo.co.jp



平成27年度決算・28年度予算

①収入の部

(単位:円)

項 目	27年度決算	28年度予算	備考
繰 越 金	6,599,459	7,023,141	
会 費	990,000	850,000	平成28年度新入生85名
諸 収 入	71,210	1,250	
計	7,660,669	7,874,391	

②支出の部

(単位:円)

項 目	27年度決算	28年度予算	備考
運 営 費	227,127	200,000	卒業生記念品代含む
技短祭費用	103,526	150,000	イベントブース運営費用
郵 送 費	306,875	600,000	会報誌作成/発送費用
そ の 他	0	0	予備費
計	637,528	950,000	
差 異	7,023,141	6,924,391	

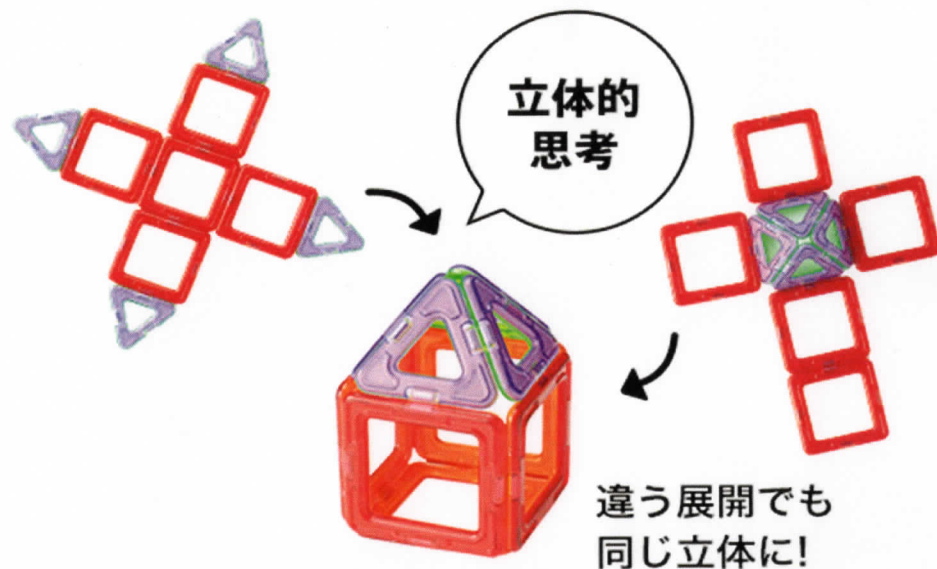
2016年3月 退職者

前原 弘法 (講師 精密機械技術科)

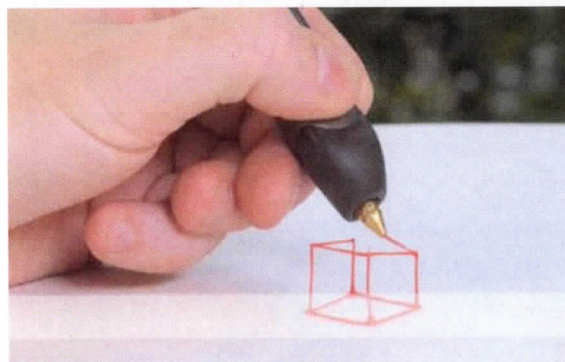
佐藤 正幸 (准教授 電子システム技術科)

熊本県立技術短期大学校-同窓会ブース-

マグフォーマー体験



3Dペン体験



創作コーナー

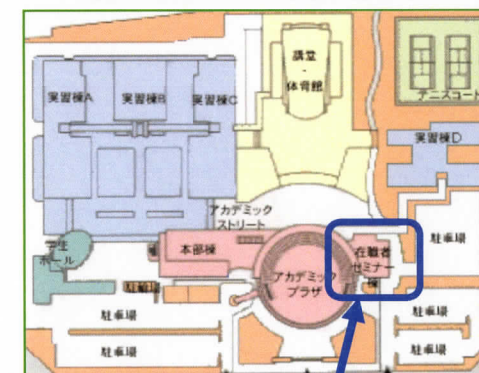
ポップアップカード



ツムツム折り紙



ブース場所



在職者セミナー棟で行っています。卒業生が運営していますので、卒業後の話も気軽におたずねください。お待ちしております。

休憩コーナー

喫茶コーナーを用意しております。
保護者の方、卒業生、どなたでも
気軽にお立ち寄りください。

